

スポーツアラカト!



★清々しい太陽のもと第24回白石東地区マラソン大会が、6月28日〔日〕大谷地冒険公園を発着とした「白石ころーど」で開催されました。出場選手は、道職員住宅をふくめ9町内会より小学生男子が30名、小学生女子4名、中学生以上・一般男女が11名、合わせて45名の選手が健脚を競いました。大会運営は、各町内会長を始め、体育スポーツ振興会役員、青少年育成委員会、白石東地区少年野球連盟、参加チームの父母の皆さん、白石東地区交通安全実践会などの協力のもと実施されました。大会役員の主な役割は、白石ころーどを使用するところから、自転車走行の方、ランニングをしている方、ウォーキングをしている方などが利用しており、出場選手との接触のないよう、安全確保等のための走路員として参加していただいております。

★夏空のもと、第28回白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が、7月12日〔日〕に白石南公園で開催され、9町内会より63名の方が参加しました。競技は3ラウンド24ホールで実施され、参加者の中には80才代の方が12名を数えておりました。熟年パワーを随所に

発揮され、男子の部の優勝者と、女子の部の準優勝者はいずれも81歳でした。公園内には芝と砂地があり、各ホールで歓声が上がり、和気藹々とプレーを楽しまれておりました。そして大いに交流が深められ、次大会への参加を約束している姿が見られました。閉会式には、白石東地区センターの事業として、白石東・東白石両連合町内会共催のグランドゴルフを楽しむ会の開催案内がありました。

★真夏の暑い太陽の日差しのもと、第24回白石東地区少年野球大会が8月2日〔日〕に白石東公園で開催されました。参加チームが2チームであったものの、両チームの監督さんの協力により、混成で1チームをつくり、3チームによるリーグ戦で開催し、優勝は栄通17丁目町内会チーム、準優勝が大谷地第一町内会Aチーム、第3位が大谷地第一町内会Bチームでした。対戦スコアは、急遽チームを編成したこと大味な試合となりましたが、初めて試合に出た子供や、いつものポジションでなかったり、たくさんの陳プレーや好プレーが見られ、どの試合も熱戦でした。なお、本年度予定しておりました少年野球新人戦は、チーム構成が出来ず中止となりました。



★秋空のもと、第29回白石東地区グランドゴルフを楽しむ会が9月20日〔日〕に白石南公園で開催され、8町内会より58名の参加がありました。白石土木センターにお願いして、芝もきれいに刈りとられ、絶好の状態での開催でした。3ラウンド24ホールで実施し、コース設定も少し短く、砂利を避けたり、障害物を避けるようなコース設定としたところ、ホールインワンが続出、コースのあちらこちらで歓声が上がっておりました。途中、小雨が降ったものの、選手達の熱気で雨を吹き飛ばしておりました。表彰では、男子の部で優勝・準優勝・第3位ともスコアが57と同じ打数となり、年齢で順位を決定しました。優勝者が79歳、準優勝者が74歳、第3位が71歳でした。女子の部も入賞者全員70歳代の方でした。楽しみながらの健康づくりを今後も進めてまいりたいと思います。



★今後の健康・スポーツ関連行事の日程について

- ・11月 3日〔火〕文化の日 ニュースポーツ&すこやかフェスタ、会場 コンベンションセンター
 - ・11月23日〔月〕勤労感謝の日 第43回白石区民卓球大会、〔広報さっぽろ参照〕
- 大会の開催内容は回覧いたしますが、多くの皆さんの参加をお待ちしております。 . . . 長井

取材スタッフ 市橋〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・中村〔まち協〕・田森〔まち協〕・福田〔まち協〕・横野〔まち協〕
長井〔体振〕・東海林〔青少年育成〕・紫藤〔青少年育成〕
お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」
〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694 (休館: 土・日・祝日)

スタッフ
募集中!

第32号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!



みんなであそぼう! at白石南公園

白石東地区まちづくり協議会主催の世代交流プロジェクト事業「みんなであそぼう! at 白石南公園」が、7月29日(水)に開催されました。去年は、雨天のため大谷地小学校の体育館で実施いたしましたが、今年は好天に恵まれ多くの人で賑わいました。夏休み中ということもあって、小学生・保育園児・幼稚園児・そしてたくさんの親子の方々があそびに来てくれました。



スタッフには、民生児童委員・老人クラブ・交通安全母の会等各種団体の皆さん、さらに各町内会の応援をいただきました。また、学生のボランティア参加もあり、例年お世話になっている札幌商工会議所附属専門学校や東白石中学校、そして今年初めて参加して頂いたクラーク高校の皆さん等には大変お世話になりました。こうしてさまざまな世代の人たちとふれ合い、交流を深めることができることも、このイベントの良いところだと思っています。



夏の暑い一日のわずかな時間ではありますが、ヨーヨー釣りや水まどあてなどの水遊び・ストラックアウト・玉入れや輪投げ等が賑わっていました。竹馬に挑戦する小学生も真剣に取り組んでいました。赤ちゃんも遊べるハイハイ広場のボールころころを含めると17カ所のあそびのコーナーがありますが、みんなで楽しめるコーナーをもっともっと増やしていきたいと思っています。

ステージでは、東白石保育園・白石うさこ保育園・大谷地たかだ保育園・双葉保育園の園児による唄やダンスの発表があり、元気いっぱいの演技は会場を盛り上げてくれました。白石区のマスコットキャラクター「しろっぴー」の登場もあり、子どもたちに大人気でした。最後は全員で「アンパンマン体操」を行い締めくくりました。今回はスタッフを含めて700余名の参加者になりました。

核家族・ゲーム・児童を狙った犯罪・少子化 etc 多くの子ども同士と一緒に活動する場がなくなった現在、近所とのつきあいや町内・地域の交流も含めて、子どもが多くの人とかかわる場を設けたいと思っています。冬には「雪で遊ぼう! at 大谷地小学校」というイベントを予定しています。是非参加して頂ければと思います。

. . . 世代交流プロジェクトリーダー: 東海林



環境・美化活動から 2 題

★『クリーンアップ大作戦』

白石東地区の環境美化を目的とする町内清掃活動の一環として、「クリーンアップ大作戦」事業を始めて今年で 8 回目となりました。この活動は、札幌商工会議所付属専門学校が教科の一環として地域内の環境美化に参加し、白石東地区まちづくり協議会と共同で毎年実施している事業です。

今年も、13 町内会地域 72 名の皆さま方、同校の引率教員 15 名及び学生 447 名の皆さま方の総勢 534 名が参加されました。結果、飲料缶やペットボトル、特にコンビニ近辺で車から捨てられている多量のタバコの吸殻等をこまめに拾い上げる姿を目にして、元気で素直な学生さんばかりのようで、久しぶりに若者と接し私自身すがすがしい気分になりました。今回、参加された学生諸君のほとんどが、来年度より成人年齢の法改正により 18 歳以上で成人扱いとなることを思うと、責任ある社会人として来年も参加協力して下さることを願っております。



私心ながら、町内会イベント活動において年々若い人の参加が少なくなっている現状を見ると、このような若い学生さんが何らかの方法で参加してくれる事を模索して行きたいと思っております。将来、「クリーンアップ事業」をしなくても「ゴミ捨て」の無い美しい環境の街になることを願いつつ来年も継続してゆきたいと願っております。

★『《 J I C A 研修会 》 中南米地域諸国廃棄物管理者と市民（町内会）との意見交換会』

この交換会は、去る 7 月 31 日（金）に J I C A 札幌セミナールームに於いて中南米諸国（エルサルバドル、キューバ、コスタリカ、ドミニカ共和国、グアテマラ、ホンジュラス、パナマ）の 7 ヶ国 13 名の廃棄物管理官の皆様と白石東地区町内会連合会の皆様（6 名）が集い、J I C A 事務局宮川氏の司会進行で行われました。当日の主なテーマとして、以下の項目をディスカッション致しました。

1 中南米各国での廃棄物の収集状況について

①各国とも混合収集（産業廃棄物も有害ゴミでない限り収集）で、基本は戸別収集でリヤカーのようなもので集めている。②収集費用は全て市民から電気料金や水道料金と合わせて徴収している。③定期的なごみ収集が、地域の環境衛生、ひいては乳幼児・児童に対する健康被害の減少に役立つことを認識し、そのためにどのように住民啓発するかを参考にしたい。そして、その行動計画をたてることが重要な戦略であると認識している。④最大の関心事は、日本で実施しているゴミの分別収集がどのように円滑に行われているか、その実情を知りたい。⑤ゴミ出しについては、特に女性から直接聞きたいという要望があり、家庭での分別ゴミの出し方について、女性の視点で意見を伺いたい。

2 私ども町内会のゴミ収集活動報告について

ゴミ収集活動が地域住民（主として町内会）と行政とのたゆまざる努力により今日に至った経緯を話す。行政・町内会の具体的なゴミに関する実施内容は、①ゴミ分けガイド・家庭ゴミ収集日カレンダーの製作＜行政＞、②地域内一斉清掃＜町内会＞・その一斉清掃で出たゴミの回収＜行政＞、③ゴミ収集日カレンダーにもとづく収集車両による回収＜行政＞。



『当初地域のゴミステーションは、各丁目ごとに 1 ヶ所、大型ゴミステーションが設置されておりましたが、その当時は分別ゴミの指定された曜日をお構いなしにゴミを捨てる者がいたり、通りすがり（町外）の車からのポイ捨てが頻繁にあったり、地域の人が大変苦労した時期がありました。その後、区の清掃事務所と町内会との協議の上、戸建住宅にあつては 5～10 戸単位の班ごとに移動式ゴミサークルを配置し、特にアパート・マンションに対しては、町内会からオーナーや管理会社に単独のゴミステーション設置を要望した結果、その設置が促進されました。』

このことが全市的に周知徹底され、「ゴミ」の無い美しい街並みに変わりつつあることを説明し、彼等に理解されたと感じました。

・・・環境・美化プロジェクトリーダー：田森

「さわやかラジオ体操会 冒険公園」の活動

この会は、毎年 3 月 1 日～12 月 28 日（1・2 月は休み）の期間に、栄通 19 丁目の「こころ一ど」沿いにある「白石東冒険公園（3・12 月は市民協ルーシー駐車場）」でラジオ体操をする会です。この会の目的は会員および地域住人の健康・体力の増進と会員相互の親睦を図り、ボランティア活動を通じ地域の発展に協力することです。平成 19 年 4 月 29 日から活動を開始し、今年で 9 年目を迎えております。会の運営は、幹事長の伊邊（イベ）一級指導員を含め 13 名の幹事が担当し、会員からの年会費（一口 500 円上限ナシ）を財源に、毎年 2 月に新年会と総会を開催しております。ラジオ体操の参加者は 3～4 月および 11～12 月は 1 日平均 30～50 名ですが、その他の時期は 70～80 名で、多い時は 100 名を超すことがあります。

会の活動は、毎日のラジオ体操はもちろんですが、この他にも主なものとして、①機関誌の発行：年間行事・月別参加者数の集計・募金報告・会員からの寄稿文掲載等で構成され、これを会員に配布する。②会員相互の見守り活動（ゆるやかな見守り活動）：ラジオ体操は体操をする人の立つ位置が変わらないので、2～3 日休むと親しくしている仲間から電話等で安否の確認をする（プライバシーを守るため会としては積極的に行わない）。このことが、特に高齢者にとってゆるやかな見守り活動となっている。③ボランティア清掃活動：毎朝、自宅から会場までの道路と会場である公園のゴミ拾いを、1 日平均 10～13 名（雪解け時は 15 名以上）で行う。また積雪前の 10 月末～11 月にかけては、落ち葉とゴミの回収を 40 名ほどの会員が、重労働とその汚れをものともせず積極的に協力し、1 回の清掃で 45ℓ のゴミ袋が 40～100 袋、1 シーズンで 450～500 袋にもなる。ラジオ体操の聖地を守ろうとする積極性とその熱意に感服します。④ 1,000 万人のラジオ体操・みんなの体操祭への参加：この祭りは毎年 7 月～8 月初に全国を巡回して実施されるが、今年は北陸金沢市で開催され、札幌地区からは 20 名の参加者があり、毎年の様に参加している会員もいる。これらの活動のほかにもウォーキングと観桜会・工場見学会・パークゴルフ大会・ラジオ体操の研修会や指導者講習会および認定試験の受験・反省親睦会など様々な行事を行っております。これらのラジオ体操やボランティア活動等が評価され、活動開始から 7 年目の平成 25 年には、全国ラジオ体操連盟より、札幌地区表彰を受賞しております。

この様なことで、毎日ラジオ体操を 6 時 25 分から「みんなの体操・ラジオ体操第 1・第 2」を行い、15 分間休みなく体を動かします。このことで一日の活動が始まり、それが幼児・小学生・中高年の方々の健康維持に役立っていると思います。特に高齢者の方々は自分の健康状態が計れますので、休まず毎日参加されています。また、今年のビッグニュースは、小学校 6 年生の男子 2 名が 7 月の研修会を受講し、翌日から前に立って指導助手をしており、会員の人気を得ております。このことについては、夏休み中に大谷地小学校の佐藤校長も会場に来てご覧いただいております。

以上がこの会の概要ですが、これからも地域の方々の健康増進と「こころ一ど」近辺の環境美化活動に、会員一同努力を続けてまいります。・・・中村



おたる水族館見学会

去る 7 月 5 日、毎年恒例の白石東地区青少年育成委員会の子どもハイキングは、例年とは少し雰囲気の違う「おたる水族館見学会」と題して、子ども 35 名と育成委員 12 名で楽しく行ってきました。おたる水族館までは片道 1 時間の道のりでしたが、車中ではじゃんけん大会やなぞなぞなどで盛り上がり、あっという間に水族館に到着。天候にも恵まれ、屋外でのスケジュールも予定通りに楽しむことが出来ました。



館内散策では興味深く各水槽を見学し、屋外でのアザラシショーとトドショーでは、一つ一つの愛らしいしぐさに心もほっこり。今年度から新しく開始した「ペンギンの海まで遠足」では、ペンギンが海に向かってヨチヨチ歩く姿を間近で見ながら、一緒にお散歩を楽しみました。そして、なんとと言ってもイルカショーはジャンプの連続で大迫力。水しぶきをかけられるハプニングにも大歓声で盛り上がりました。

昼食の時間は、各自持参した手作りのお弁当や育成委員会が用意したおやつを食べたり、学年や学校の枠を越え仲良く話をしたり遊んだりと交流を深め、微笑ましい様子で楽しい一日を過ごしました。・・・紫藤